



記者発表

令和3年8月3日
福島河川国道事務所

水門等水位観測員の功績を称えて

～国土交通行政関係功労者表彰式を行います～

福島河川国道事務所では、阿武隈川の本川や支川の堤防に設置している水門等（樋門・樋管）の操作を多年にわたり担い、洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、地域の安全と災害の軽減に貢献された水門等水位観測員に対して、その功績を称えて、表彰式を行います。

1. 開催日時・場所

○日時：令和3年8月6日（金）13時30分から

○場所：福島河川国道事務所 3階 大会議室（福島市黒岩字榎平36番地）

2. 表彰事由

建設事業関係功労者（水門等水位観測員）として、多年にわたり水閘門操作に精励し、治水事業の推進に寄与された方を表彰します。

3. 被表彰者（別紙のとおり）

○東北地方整備局長表彰 12名

水門等水位観測員として20年以上、樋門・樋管の操作業務等に継続的に従事された個人を表彰。

○福島河川国道事務所長表彰 12名

水門等水位観測員として15年以上、樋門・樋管の操作業務等に継続的に従事された個人を表彰。

4. 取材受付

取材にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受付時の検温、マスク着用、手指消毒、密集を避けるための距離確保、換気等の必要な措置にご協力をお願いします。

※ ヒモン ヒカン 樋門・樋管とは、洪水により阿武隈川等が増水したとき、その洪水が住宅地側に逆流することを防ぐ堤防と一体となった施設です。

福島河川国道事務所では、147施設について、日常の施設点検や洪水時の操作業務を近隣住民251名に委嘱しています。

発表記者会

（福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ、須賀川市記者クラブ）

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県福島市黒岩字榎平36番地 TEL 024（546）4331（代）

河川管理課長 たかはし 高橋 たかし 隆（内線331）

保全対策官 おうみや 近江屋 しんご 慎吾（内線305）

別 紙

■ 建設事業関係功労者表彰（水門等水位観測員）

〔東北地方整備局長表彰(伝達)〕

(敬称略)

氏 名	担当樋門・樋管	場所	摘 要
こじま 児島 としあき 俊彰	阿武隈川水系荒川 吉井田第四樋管	福島市	
わたなべ 渡邊 ゆきひろ 幸弘	阿武隈川水系荒川 野田第一樋管	福島市	
こんない 近内 ともひろ 与弘	阿武隈川水系阿武隈川 江持第二樋管	須賀川市	
いとう 伊藤 せいいち 誠一	阿武隈川水系阿武隈川 七日淵樋管、芹沢樋門	郡山市	
ひろかわ 廣川 ひろし 寛	阿武隈川水系阿武隈川 淵の上樋管	郡山市	
しいね 椎根 こうじ 浩司	阿武隈川水系阿武隈川 高倉樋管	郡山市	
ねもと 根本 じゆんいち 淳一	阿武隈川水系阿武隈川 八丁目第二樋管	郡山市	
すずき 鈴木 よしひろ 芳弘	阿武隈川水系阿武隈川 八丁目第二樋管	郡山市	
えんどう 遠藤 ひでよし 英吉	阿武隈川水系阿武隈川 小和滝第二樋管	郡山市	
さんぼんすげ 三本菅 ちゆうじ 忠二	阿武隈川水系阿武隈川 小和滝第二樋管	郡山市	令和3年7月21日東北 地方整備局表彰式 典にて表彰済み
わたなべ 渡邊 しよういち 正一	阿武隈川水系阿武隈川 日向第二樋管	郡山市	
いしい 石井 もとのぶ 源信	阿武隈川水系阿武隈川 日向第二樋管	郡山市	

〔福島河川国道事務所長表彰〕

(敬称略)

氏 名	担当樋門・樋管	場所	摘 要
さとう 佐藤 ふみひろ 史浩	阿武隈川水系荒川 川原内樋管	福島市	
いけがみ 池上 ひろのり 宏則	阿武隈川水系阿武隈川 安原第一樋管	郡山市	
あだち 安達 やすいち 安一	阿武隈川水系阿武隈川 安原第二樋管	郡山市	
はしもと 橋本 ひきお 壽郎	阿武隈川水系阿武隈川 七日淵樋管、芹沢樋門	郡山市	
しばはら 柴原 はじめ 一	阿武隈川水系阿武隈川 浜尾樋管	須賀川市	
ふるかわ 古川 ひでお 秀雄	阿武隈川水系阿武隈川 寺館川樋管	郡山市	
いけだ 池田 よしはる 義治	阿武隈川水系阿武隈川 八木橋樋管	郡山市	
あんざい 安斎 やすお 康夫	阿武隈川水系阿武隈川 六角川樋門	二本松市	
きくち 菊地 あきお 秋雄	阿武隈川水系阿武隈川 六角川樋門	二本松市	
あんざい 安斎 きいちろう 喜一郎	阿武隈川水系阿武隈川 安達ヶ原樋門	二本松市	
きくち 菊地 くに 國男	阿武隈川水系阿武隈川 榎戸樋門	二本松市	
なかた 中田 こうじ 幸治	阿武隈川水系阿武隈川 古段樋管	郡山市	

なお、表彰式には、都合により欠席される方もいらっしゃいますのでご了承願います。